

# 舵輪

## 十二月のイベント

### ボランテアの集い

平成十二年十二月二日ボランテアの集いが富山自遊館で盛大に行われました。今年の精勤賞受賞者は五十七名でした。

### 餅つき大会

平成十二年十二月二十三日餅つき大会が行われました。九時から準備作業が開始され鏡餅・振る舞い用の餅や豚汁が作られました。十時半頃から振る舞いを行いました。天気が良かったことと報道の宣伝により来場者が詰めかけ十二時には振る舞いが終わる繁盛ぶりでした。テレビや新聞で取り上げられ、ボランテアの活動が大きくPRされました。

### 鏡開き大会

平成十三年一月十四日鏡開き大会が行われました。大雪の中でぜんざいを作り、振る舞いを行いました。あいにくの天気の中の振る舞いとなりましたが、手作りのぜんざいを味わった来場者からは「とてもおいしい。」と好評の言葉を多く得ました。大雪の中、参加されたボランテアの皆様、お疲れさまでした。

### ボランテア研修

平成十三年一月十四日に本年度第三回目のボランテア研修を行いました。内容については登し礼の訓練、ボランテアによる案内案内の意見について話し合いました。

## 特別寄稿

移動海洋教室を見学して  
新湊市港湾課長 宮田雅人

去る一月二十日、大寒の日に底冷えのする奈古中学校の体育館で、帆船海王丸記念財団の職員による移動海洋教室の実技指導を見学させていただきました。ロープワークでは、生徒たちは、最初

はかじかむ手で思うようにいかぬ作業を見様見まねで取り組んでいましたが、さすがに飲み込みも早くしばらくの間にすっかりマスターしていました。そうした姿を見て、大変頼もしく感じた次第です。手旗信号の指導では、手旗信号の原画の指導を受けた後、全体で反復練習しました。これもなかなかの上達ぶりであったと思います。職員の手旗信号が何を表しているのかを当てる場面でも、見事正解する生徒がいるなど、感心させられました。

とにかく、「今の子供たちは・・・」という言い方が大人の口癖となつていますが、どうして、どうして、この時の生徒たちは、不平一つ言わず、むしろその場の雰囲気溶け込み、みんな楽しんで学んでいました。

今の大人は、「今時の子供はこんなことに見向きもしないだろう。だから・・・」などと変に子供たちに気遣っている面があるのではないだろうかと思ふ。反省させられました。時代が変わつても変わらぬ原点、基本を教えることの大切さを学んだ気がします。その際、共に学ぶ姿勢が大人の側に特に必要なんだということも学びました。

また、海事思想の普及とは、こうした取組を地道に継続することで実を結ぶのだらうなと思つたものです。将来を担う子供たちに、これらの体験を通じて、海への関心や知識を深め、海のすばらしさ、海への厳しさを体得してもらつ、その機会を多くの子供たちに今後とも与えていくことを望みます。

財団の皆様の今後変わらぬ奮闘と学校の先生方の理解ある対応の広がり、熱い期待を寄せながら感想を閉じさせていただきます。

## SPRING THE MAINBRACE

Anchor (錨)

久しぶりに誌面に余裕が出来たとのことで今回は錨の話を書きましょう。海王丸にも船首に大きなストックアンカーが2つ、ウエルデッキに予備のアンカーが1つ、それと船尾のフードの後ろにケツジアンカーと呼ばれる小錨が1つ

あります。錨の機能は、主には言うまでもなく沖で錨を海底に降ろして船を繋ぎ止めることに使われます。水底への定着です。日本では昔「いかり」は「碇」・「掟」と書いていました。昔は今のような鉄製ではなく、石にロープを結びつけた簡単な作りでした。「こ」で漢字の旁(つくり)の「定」は「定着」を意味し石を「水底に定着させる」意から「碇」と言う字になつたとされています。また、証券市場では相場がしつかりしていることを「碇り」と書き、「しつかり」と読ませていたそうです。また、錨には「かぎ」や「つめ」の部分があります。この部分に着目して「いかり」の字は変化します。鋭敏な爪を持つ動物で身近なものには「猫」がいます。この猫の爪はしつかり地面を搔くことから「いかり」を「木猫」や「鉄猫」と書いていたものが現在使われている「錨」の字になりました。語源については書き出すと今回の紙面には収まらなくなりますが、この辺にしておきましょう。

さて、では実際の錨はどのように使われるのでしょうか。第一の目的は最初にも書きましたように船を繋ぎおくために使われます。これには単錨泊・双錨泊・二錨泊などいろいろな方法があります。そのほかの利用方法には次のようなものがあります。

他の船や危険物を避けるときに緊急に船のスビードを落とすため。  
狭い港などでその場で船を回す(回頭)ため。  
岸壁などに着岸するとき、前進の力の抑制や横付けによるショックの防止。  
岸壁から離れるとき、錨(錨鎖)を巻いて岸壁からはなすため。  
強い風や潮の流れにより流されるのを防ぐため。

等々いろいろな利用方法があります。みなさんも港で岸壁に停泊している船を見れば、岸壁と反対側の錨を降ろしているのを見て下さい。

「錨」は万端ではありません。沖で停泊している風が強くなると「錨」を中心に船は「八の字」を描くように左右に動き出します。更にものすごく強くなると「錨」は海底を滑り出してしまつこともあります。これを「走錨」といいますが、

風が強くなると当直の航海士は気が気でありません。海王丸も他の船が「走錨」してしまい接触、バウスプリットを折られ、ヤードを曲げられてしまったこともありました。

私も海王丸乗船中、若小牧の沖で大時化に当たつた際、うねりで上下する船体の力で錨鎖を止めていた18ミリのワイヤーロープが吹っ飛び、あわや「走錨」・・・という経験をしたことがあります。その時、自然の力は本当にすごいと実感したものでした。

さて話が難しくなつてしまつ前に今回はこの辺にしておきましょう。機会があればまたこのコーナー「SPRING THE MAINBRACE」でお会いしたいと思ひます。  
K U M A

## 三月期主イベント

### 海王丸行事

「帆船海王丸の歩みをたどる記念の品々写真展」について

海王丸は今年、建造七十一年となります。また海王丸パークは平成十四年七月で開園十周年を迎えます。この機会に帆船海王丸をより多くの方に理解して頂くため、企画展示を開催しています。海王丸進水式から現役時代、そして富山での係留、一般公開から現在まで至る貴重な資料、写真、海王丸備品など約百点を分かり易く紹介しています。この機会に海王丸の長い航跡や魅力を知ってほしい、より海王丸に親しんでもらいたいと思ひております。皆様のお越しをお待ちしております。

展示期間	一月二十七日～二月二十五日
休館日	一月二十九日・二月五日・二月十三日・二月十九日
展示時間	九時三十分～午後四時迄
展示場所	海王丸パーク日本海交流センター第1・第2研修室

# 舵輪

## 「海王丸進水記念日」について

二月十四日は海王丸が進水した日です。今年で海王丸は七十一歳を迎えることになりました。この日はお祝いの意味を込めて満船飾を行います。一年で数回しか行われませんので、この機会に是非、見に来て下さい。

またこの日は、バレンタインデーとしても広く親しまれております。このため、海王丸記念財団では乗船された方に特製のバレンタインチョコを船長からプレゼントします。海王丸の誕生日を皆様と共に祝いたいと考えています。

なお二月十二日十時頃、高岡駅及び万葉線の車内で海王丸進水記念日のPRを行います。

## 満船飾実施日時

二月十四日 十時から午後四時迄  
(天候により実施しないことがあります。)

## 城端小学校へ移動海洋教室

二月六日城端小学校で移動海洋教室を行います。篠塚船長の海と船の話の他にロープワークなどの実技指導を行います。

## 休館日について

海王丸は二月二十六日から三月十五日にかけて公開区域整備及び帆の取り付け作業(ペンディングセイル)が行われるため休館します。

## ボランティア行事

### 「ペンディングセイル」について

平成十三年年度の展帆に備え、二日間かけて帆の取り付け作業・ペンディングセイルを行います。大がかりな作業となります。一人でも多くのボランティアの参加をお願いします。

作業日 三月十二日(日)

集合時間 午前八時三十分

作業時間 午前九時から午後四時

## 集合場所 海王丸 第一教室

返信用葉書で参加・不参加の連絡をお願いします。なお天候により作業が中止になることがあります。

## 「ボランティア研修」について

三月十八日に本年度第四回目のボランティア研修を行います。今回の研修は登りよう礼関係の内容・訓練を中心に活動を行う予定です。登りよう礼に参加されたい方は研修の参加をお願いします。

研修日時 三月十八日(日)

午前十時から午後四時

集合場所 海王丸 第一教室

返信用葉書で参加・不参加の連絡をお願いします。

## 「展帆ボランティア甲板作業」について

ボランティア活動は展帆だけではなく、ロバンドの作製・セイルの作製・ペイント作業を中心とする船体の保守手入れ作業などがあります。展帆だけでなく、甲板作業を通して海王丸の船内作業を体験してもらいたいと思います。

希望するボランティアの方は甲板作業の希望日時を事務所、業務課に連絡して下さい。甲板作業にも紺青賞といった賞があります。希望の方は事務所へ連絡をお願いします。

## ボランティア通信

一月十日から二月十二日予定をしていたスキーツアーは都合により中止となりました。申し訳ありませんが御了承願います。

## 募集

### 帆船海王丸ボランティア募集中

平成十三年年度の新規ボランティアの

募集を行います。活動内容は、展帆・置帆作業の他、船の作業などがあります。平成十三年の新規申込者の訓練予定日は左記のとおりです。

- 第一回目 四月 七日・十五日
- 第二回目 五月 二十六日・二十七日
- 第三回目 六月 三十日・七月一日
- 第四回目 九月 十五日・十六日

## 海洋教室の受付について

### 団体参加海洋教室

平成十三年年度の団体参加海洋教室の受付を四月一日から行います。団体参加は原則として三十名以上です。プログラムは協議の上、希望に沿ったものを作製します。七月から八月は予約で混雑が予想されます。この時期を希望する団体の方は早めの受付をお願いします。

### 親子海洋教室

平成十三年年度の財団主催親子海洋教室の受付を四月一日から行います。実施予定日は次の通りです。

- (宿泊コース) 六月 二十三日・二十四日
- 八月 十一日・十二日
- 十月 十三日・十四日
- (一日コース) 七月 二十二日
- 九月 二十三日

新規ボランティア・海洋教室の受付などの資料請求及び質問につきましては左記の所まで連絡をお願いします。

(財) 帆船海王丸記念財団 業務課

TEL 0766(82)5181  
FAX 0766(82)5197  
<http://www.hitwave.or.jp/kaiwomaru/>

## 案内

### 日本海学シンポジウムの開催について

「いま、富山から日本海ルネッサンスの胎動」をテーマとした日本海学シンポジウムが開催されます。「日本海学」について様々な話や議論が行われます。興味のある方は参加して下さい。内容は左記のとおりです。

### 基調講演

「新世紀に必要なとされる地域学とは」  
榊原 英資 慶応大学教授

パネルディスカッション他

### 同時開催

富山の玉(翡翠)展  
翡翠ガラス展示即売

日時 平成十三年 三月三十一日(土)  
午後一時五十分～午後五時

場所 富山市国際会議場  
大手町フォーラムメインホール

入場料 無料

## あとがき

遅くなりましたが、あけましておめでとございます。二十世紀が終わり二十一世紀が始まりました。海王丸は今年二月十四日で七十一歳を迎えることになりました。そして来年七月、海王丸が伏木富山港に係留されて十年を迎えます。この間、海王丸パークは富山県有数の観光スポットの一つになりました。またボランティアによる総帆展や海洋教室などが海王丸を中心としたいろいろなイベントが行われ、人と船が触れ合うイベントとして定着してきました。

今後とも海王丸及び海王丸パークが富山県の名所となり多くの方に末永く親しまれるベイエリアとなるように努力していきたいと思っております。

現在「帆船海王丸の歩みをたどる記念の品々写真展」を海王丸パーク日本海交流センターで行っています。是非とも見学して海王丸の歴史に触れてみて下さい。

最後に一月二十一日のボランティア研修の周知が不十分でした。今後情報の周知を徹底します。お詫び申し上げます。

**舵輪**

***K A I W O   M A R U***